しいたけ燃油高騰対策支援事業実施要領

しいたけ燃油高騰対策支援事業の実施については、徳島県補助金交付規則（昭和58年徳島県規則第53号以下「規則」という。）及び徳島県林業関係事業補助金交付要綱（昭和59年3月31日林政第214号以下「要綱」という。）に定めるもののほか、この要領に定めるところとする。

第1 事業実施主体

次の1又は2を満たす者とする。

- 1 自らしいたけ生産又はしいたけの菌床製造を行う市町村、森林組合、森林組合連合会、生産森林組合、農業協同組合、農業協同組合連合会、農事組合法人、民間事業者（中小企業基本法第2条第1項第1号に該当する者に限る。以下同じ。）及び個人等であって、しいたけ販売（しいたけの菌床販売含む）の収入が事業収入の過半を占める者（以下「取組実施者」という。）。なお、しいたけの菌床製造者であって、自らしいたけ生産を行わない取組実施者（以下、「菌床製造取組実施者」という。）の事業収入については、製造工場等の製造部門単独の事業収入としてよいこととする。
- 2 取組実施者を取りまとめる市町村、森林組合、森林組合連合会、生産森林組合、農業協同組合、農業協同組合連合会、農事組合法人及び民間事業者（以下「取りまとめ者」という。）。

第2 事業の内容

燃油価格が高騰する中、省エネ及び生産コスト低減に取り組む県内のしいたけ生産事業者等に対して、しいたけ生産に必要な殺菌、培養、発生工程の加温等に使用する燃油の価格高騰分を支援することで、しいたけ生産事業者等の経営安定と事業継続を図る。

第3 採択基準

- 1 取組実施者は、県内においてしいたけの生産又はしいたけの菌床製造の実績があること。
- 2 事業実施主体は、個々の取組実施者、複数の取組実施者をまとめた取りまとめ者のいずれも可能である。

第4 補助対象油種

しいたけ生産に必要な殺菌、培養、発生工程の加温等に供するため、令和6年4月から令和7年3月まで（以下「対象期間」という。）に購入したA重油、灯油とする。

第5 補助金の額

1 補助金の算定

第4に定める対象期間中の各月ごとに、当該月の燃油平均価格が、基準価格を超えた場合に行うものとする。

当該月の燃油平均価格は「農業物価統計調査」（農林水産省大臣官房統計部公表）における全国A重油平均価格とし、基準価格は過去7年間の加温期間（11月から翌4月）の全国A重油平均価格のうち最高値1年分と最安値1年分を除いた5年の平均価格とする。

2 支援単価

燃油の単位数量当たりの支援金額（以下「支援金単価」という。）は、次に掲げる算式により算出された額を限度とする。なお、灯油の場合は、A重油価格からの換算式（灯油価格＝A重油価格×1.06）により算出する。

支援金単価（円/リットル）（小数点第2位切捨）＝

支援対象単価（当該月の燃油平均価格(円/リットル)－基準価格(円/リットル))×1/2以内

3 支援対象となる燃油数量

取組実施者がしいたけ生産に必要な殺菌、培養、発生工程の加温等に供するために当該月に取組実施者自身が購入したA重油、灯油の数量（以下「燃油数量」という。）とする。ただし、納品書、請求書及び領収書等により、取組実施者が購入したことを確認できるものに限る。

なお、菌床製造取組実施者が、省エネ及び生産コスト低減にしいたけ生産者と共同で取り組む場合の支援対象となる燃油数量は、しいたけ生産者に販売した菌床の製造に要した燃油数量とし、次に掲げる算式により算出する。

省エネ等に共同で取り組むしいたけ生産者に販売した菌床の製造に要した燃油数量

＝ 菌床製造取組実施者が購入した燃油数量 ×

（省エネ等に共同で取り組む生産者への菌床販売量（個）／菌床総製造量（個））

4 支援金の交付額

各月ごとの支援金の交付額は次に掲げる算式により、A重油、灯油ごとに算出された額を限度とする。

当該月支援金交付額（円）（1円未満切捨）＝支援金単価×支援対象となる燃油数量

第6 事業の実施

1 取組計画書の作成

事業実施主体は取組計画書承認申請書（様式第1－1号）を作成し、知事に提出する。添付資料は次のとおりである。なお、菌床製造取組実施者が単独で次のイ及びエの作成が困難な場合、しいたけの生産を行う取組実施者又は補助事業を実施しない者であって、省エネ及び生産コスト低減に取り組む県内のしいたけ生産者と共同で作成できるものとし、しいたけ生産者が作成した実施計画書等の写しに加筆して共同の実施計画書等を作成できるものとする。

ア 取組実施者名簿（様式第1－2号）

イ コスト低減等実施計画書（様式第2号）

様式のチェックポイントの取組メニューが15以上必要であり、そのうち2つ以上は新しい取組、従来の取組の強化、拡大が必要である。ただし、事業実施主体が、特用林産生産資材高騰対策事業（以下、「資材高騰対策事業」という。）実施要領第6の2）に定める取組計画書をすでに知事に提出し、適当と認められている場合、新たな実施計画書の提出は省略できることとし、認められた取組計画書に添付した実施計画書の写しを添付すること。

なお、菌床製造取組実施者がしいたけ生産者と共同で作成する場合、資材高騰対策事業で認められたしいたけ生産者の実施計画書の写しに、取組実施者名及び取組メニューのチェックを赤字で加筆することにより、共同の実施計画書とすることができる。

ウ 省エネルギー取組計画（様式第3号）

令和7年度における菌床製造量千個当たりの燃油使用量を令和5年度比10%以上の削減に取り組むことに加え、省エネ生産管理計画チェックシート（様式第4号）の実践を必須の取組とする省エネルギー取組計画を策定すること。

なお、過去に、当該支援事業を実施し、省エネルギー取組計画を提出した取組実施者は、すでに提出した省エネルギー取組計画の写しを提出することにより、新たな取組計画の提出は省略できるものとし、引き続き、計画の取組を実施すること。

エ 省エネ生産管理計画チェックシート（様式第4号）

実施する（している）内容すべてに「○」を記載することとし、合計点数が22点以上となる取組（10%以上の燃油削減が期待される取組）を実施すること。

なお、過去に、当該支援事業を実施した取組実施者は、すでに提出した省エネ生産管理計画チェックシートの写しを提出し、引き続き、計画の取組を実施すること。

オ 取組実施者のしいたけの販売収入（しいたけの菌床販売含む）が事業収入の過半を占めることを証明する書類

2 取組計画の変更

事業計画を変更する場合は、上記1の規定を準用することとし、取組計画書変更承認申請書（様式第1-1号）を作成し、知事に提出する。

3 事業の内示

知事は、1及び2の取組計画書が提出されたときは、その内容について審査し、適当と認めるときは事業内示を行う。ただし、徳島県総合県民局長又は東部農林水産局長に提出された場合は知事と協議の上、適当と認める場合は事業内示を行う。

4 補助金交付申請

事業実施主体は、事業内示後、要綱第3条に定める補助金交付申請書を知事に提出する。添付資料は次のとおりである。

ア 事業の内容及び経費の配分（様式第5号）

5 実績報告書等の作成

事業実施主体は、規則第11条及び要綱第8条に定める実績報告書、取組実績報告書（様式第6号）を作成し知事に提出する。添付資料は次のとおりである。なお、菌床製造取組実施者が、県内のしいたけ生産を行う取組実施者と共同でカ及びキを作成する場合、しいたけ生産者が作成した実施報告書等の写しに加筆して共同の実施報告書等を作成できるものとする。

ア 取組計画書承認申請書（様式第1-1号）の別添を取組実績報告書としたもの

イ 取組実施者名簿（様式第1-2号）

ウ 取組計画書提出時に添付した証明及び根拠書類のうち変更があった書類

エ 事業の内容及び事業成績（様式第5号）

オ 支援金単価算出表及び交付対象者一覧表（様式第7号又は様式第8号）

カ コスト低減等実施報告書（様式第9号）

コスト低減等実施計画書に変更箇所を見え消し修正することにより、コスト低減等実施報告書とすることができる。

キ 省エネ生産管理実績チェックシート（様式第10号）

省エネ生産管理計画チェックシート又は省エネ生産管理取組状況チェックシートに変更箇所を見え消し修正することにより、省エネ生産管理実績チェックシートとすることができる。

ク 納品書又は請求書の写し

ケ 燃油数量算出表（様式第11号）

菌床製造取組実施者が省エネ及び生産コスト低減にしいたけ生産者と共同で取り組む場合のみ添付することとし、第5の3に定める菌床販売量を確認できる資料を添付すること。

第7 補助金の返還

知事は、補助金の交付を受けた事業実施主体が補助金の交付要件を満たさないこと等が判明した場合には、以下に掲げる基準により、当該補助金の返還を求めるものとする。

1 交付要件を満たさないことが確認された場合には、交付された補助金のうち、要件を満たさないことが確認された経費の返還を求めるものとする。

2 虚偽申告等の不正や悪質な事案があった場合には、補助金の全部又は一部の返還を求めるものとする。

附 則

- 1 この要領は令和5年7月6日から適用する。

附 則

- 1 この要領は令和5年12月22日から適用する。
- 2 この要領の改正前に、前要領に基づいて実施している事業については、なお従前の例による。ただし、第6の5の実績報告書の添付資料カ及びキはこの限りではない。

附 則

- 1 この要領は令和6年12月20日から適用する。
- 2 この要領の改正前に、前要領に基づいて実施している事業については、なお従前の例による。

様式第1-1号

番 号
令和 年 月 日

徳島県知事 殿

所在地
事業実施主体名
代表者氏名

令和6年度しいたけ燃油高騰対策支援取組計画書（変更）承認申請書

令和6年度において、しいたけ燃油高騰対策支援の実施に当たり、しいたけ燃油高騰対策支援取組計画書を作成（変更）したので、別添のとおり提出する。

しいたけ燃油高騰対策支援取組計画書（取組実績報告書）

第1 事業実施主体の概要

取組実施者名又は 取りまとめ者名		
代表者の役職・氏名		
取組実施者又は 取りまとめ者の住所		
事業担当者の連絡先	所属・役職 ・氏名	
	電話番号	
	E-mail	

第2 取組実施者の概要

生産（又は製造） 品目	しいたけ販売（しいたけの菌床販売含む）の 収入が事業収入の過半 を占める	燃油種別 （A重油 又は灯 油）	対象期間 における （見込） 燃油購入 量 （L）	（見込） 支援金 単価 （円/L）	（見込） 支援対象金額 （円）	（見込） 交付金額 （円）
	☐					
	☐					
計						

(注)

- 「しいたけ燃油高騰対策支援取組計画書」として使用する場合は、取組実施者のしいたけ販売（しいたけの菌床販売含む）の収入が事業収入の過半を占めることを証明する書類を提出すること。
また、見込支援金単価は、計画書作成時点で公表されている直近の燃油平均価格から、算出された単価とすること。
- 「しいたけ燃油高騰対策支援取組実績報告書」として使用する場合、算出根拠となる資料（燃油等の請求書、納品書等）を添付すること。
- 生産（又は製造）品目は「しいたけ」と記載することとし、しいたけの生産を行わない菌床製造者は「しいたけ菌床」と記載すること。
- 適宜、行を追加すること。
- 表中に十分に記載できない場合には、別紙で提出すること。

※事業実施主体が取りまとめ者の場合は以下の記載による。
様式第1－2号のとおり。

取組実施者数

第3 誓約・同意事項

事業実施主体（取組実施者を含む。）は、補助金申請に当たって次の事項を誓約・同意するものとする。

以下の内容について誓約・同意する	チェック欄	
<p>1 本事業に係る報告や立入調査について、都道府県知事から求められた場合に応じます。</p> <p>2 取組を実施したことが確認できる書類等の証拠書類について、補助金の交付を受けた年度の翌年度から5年間保管し、都道府県から求められた場合は提出します。</p> <p>3 取組計画書及びその他の提出書類において、虚偽の内容を申請したことが判明した場合には、補助金を返還すること、又は交付されないことに異存ありません。</p> <p>(注) 誓約・同意事項の内容を確認の上、チェック欄に○を記載すること。</p>		

様式第1-2号

しいたけ燃油高騰対策支援 取組実施者名簿

No.	取組実施者（氏名又は法人・組織名）	生産（又は製造）品目	しいたけ販売（しいたけの菌床販売含む）の収入が事業収入の過半を占める	燃油種別（A重油又は灯油）	対象期間における（見込）燃油購入量（L）	（見込）支援金単価（円/L）	（見込）支援対象金額（円）	（見込）交付金額（円）
			☐					
			☐					
			☐					
			☐					
			☐					
集計								

（注）記載上の注意事項は様式第1-1号の第2を参照すること。

きのご生産コスト低減等実施計画書（チェックシート）

チェック時期		令和 年 月			
氏名	取組実施者名①				
	取組実施者名②（共同計画書の場合のみ記載）				
対象品目		栽培方法	栽培規模		ト/年
対象品目		栽培方法	栽培規模		ト/年
対象品目		栽培方法	栽培規模		ト/年
対象品目		栽培方法	栽培規模		ト/年

- 1 実施する(している)取組メニューに「○」を付けてください。
- 2 生産資材の国産化に向けた取組、コスト低減に向けた取組のいずれも、令和6-7年度に取り組むことが必須です。
- 3 「生産資材の国産化に向けた取組」は具体的な取組内容を記載してください。「コスト低減に向けた取組」は、「令和6年度または令和7年度」に、チェックポイントの取組メニューが15個以上必要です。そのうち2つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「○」で記入)を含むようにしてください。

1. 生産資材の国産化に向けた取組		取組実施者名①		取組実施者名②	
国産化	生産資材の国産化（必須）	令和5年度までの取組	令和6-7年度までの取組	令和5年度までの取組	令和6-7年度までの取組
		生産に使用する生産資材の国産化を図っていますか ・取組の具体的な内容（既存の取組、試行的な取組も含む）			

2. コスト低減に向けた取組		取組実施者名①		取組実施者名②	
チェックポイント		令和5年度までの取組	令和6-7年度までの取組	令和5年度までの取組	令和6-7年度までの取組
燃油暖房機	1 燃焼用新鮮空気の入力口を設けましたか				
	2 缶体を清掃しましたか				
	3 バーナーノズル周辺、ディフューザー、ストレーナー、火炎検出器等を清掃しましたか				
	4 バーナーノズルを点検して定期的に交換していますか				
	5 ノズルヒーターに不具合はありませんか				
	6 エアシャッターで適正な空気量となるよう調整していますか				
	7 長期間保存した燃料を使用していませんか				
	8 温湯暖房の場合、缶水の入替え、腐食抑制剤の投入を行いましたか				
	9 温風ダクトの漏れや破れはありませんか				
	10 オイルタンクの水抜きや配管の漏れを確認しましたか				
木質暖房機	1 貯蔵タンク（サイロ）と暖房機の距離は適切ですか（15m以内）				
	2 暖房機本体の設置場所は適切ですか（培養棟・発生棟端側の中央部）				
	3 燃油暖房機とのハイブリッド運転時の温度設定は適切ですか（燃油暖房機より1〜2℃高く設定）				
	4 ダウンシュート対策をとっていますか				
	5 燃料の供給経路（サイロ⇒暖房機本体）に異常はないですか				
	6 燃料を適切な乾燥状態で使用していますか				
	7 (廃材暖房機の場合)廃材の乾燥は十分ですか				
	8 煙突掃除、燃焼灰の清掃等のメンテナンスをこまめに行っていますか				
空調設備	1 室外機や室内機周辺の障害物を除きましたか				
	2 室外機は北風等の影響がない場所に設置しましたか				
	3 (ヒートポンプの場合)デフロスト水の排水、積雪への対策をとりましたか				
	4 室外機と室内機をなるべく近くに設置しましたか				
	5 電線の太さ・長さ（引込柱～室外機の長さ）は適切にしましたか				
	6 (ヒートポンプの場合)ハイブリッド運転時の温度設定は適切ですか（燃油暖房機より2〜3℃高く設定）				
	7 空調機接続周辺部に被覆の破れや隙間はありませんか				
	8 エアフィルターや熱交換器（室内・室外）の清掃を定期的に行っていますか				

チェックポイント		取組実施者名①		取組実施者名②	
		令和5年度までの取組	令和6-7年度までの取組	令和5年度までの取組	令和6-7年度までの取組
センサー	1 センサーの先端に水滴が付いていたり、壁や内容物に接触したりしていませんか				
	2 センサーを栽培棚中央付近など適切な高さに設置していますか				
	3 センサーを暖房機や送風ダクトの吹き出し口付近に設置していませんか				
	4 センサーの正常な作動を確認していますか				
温度管理	1 送風ダクトの設置方法（本数、太さなど）は適切ですか				
	2 循環扇の設置方法（配置間隔、作物影響など）は適切ですか				
	3 温度設定にあたり栽培品目・菌種の適温を確認しましたか				
	4 培養棟・発生棟内の温度ムラの有無や温度差を適切な方法で確認しましたか				
	5 送風ダクトや循環扇を有効に活用して温度ムラを改善しましたか				
	6 送気ダクトの内部清掃は適切に行っていますか				
	7 施設内の菌床、ほだ木の収容数は適切ですか				
	8 夏季に培養棟・発生棟におけるミスト噴霧、屋根散水などの対策を講じていますか				
	9 床暖房等に使用する温水ボイラ等の設定温度は適切ですか				
	10 換気に熱交換器を利用していますか				
	11 天候の変化や日長に合わせて適切に被覆資材の上げ下ろしをしていますか				
外張被覆	1 被覆資材が汚れていないか確認しましたか				
	2 培養棟・発生棟の外張被覆の破れや隙間を点検しましたか				
	3 天窓や出入口部の破損や隙間を点検しましたか				
	4 被覆資材留具の緩みを点検しましたか				
	5 シェード（日除け）の遮光率は適切ですか				
	6 高温対策として、シェード（日除け）の2重張りを行っていますか				
	7 換気扇シャッターや使用しない出入口の目張り、側面巻き上げフィルム固定をしましたか				

きのこ生産コスト低減等実施計画書（チェックシート）

チェックポイント		取組実施者名①		取組実施者名②		
		令和5年度 までの取組	令和6-7年度 までの取組	令和5年度 までの取組	令和6-7年度 までの取組	
内張カーテン	1	培養棟・発生棟に内張（カーテン、固定張り）を設置していますか				
	2	保温、断熱性能の高い内張り用シートを利用していますか				
	3	内張カーテンを多層化していますか（可能であれば培養棟・発生棟全面）				
	4	内張カーテンに破れや隙間がないか点検しましたか				
	5	内張カーテン裾部の隙間（膨らみ）を点検しましたか				
	6	培養棟・発生棟の出入口付近や妻面は隙間のないように保温対策を行いましたか				
	7	多層カーテンでは被覆資材同士の間隔（資材同士が張り付かない）は適切ですか				
	8	多層カーテンでは肩部などの隙間対策を行いましたか				
	9	自動開閉の場合、開閉させて隙間や開閉動作に問題がないことを確認しましたか				
菌床栽培	1	菌床殺菌時に対象に応じた殺菌時間を設定していますか				
	2	殺菌釜内の収容数は適切ですか				
	3	殺菌後の冷却時間は適切に管理していますか				
	4	菌種の選択にあたり、培養環境、市場性を考慮していますか				
	5	菌床材料の保管状況は適切ですか				
	6	菌床の含水率は適切ですか				
	7	栽培舎への菌床収容数や間隔は適切ですか				
	8	栽培施設（培養室、発生棟）の環境条件（温度・CO2等）を計測していますか				
	9	散水・加湿は、適切な量、タイミングで行っていますか				
	10	照明にLEDを使用していますか				
	11	こまめに消灯するなど点灯時間は適切ですか				
	12	製造ロット単位等の菌床ロス率のチェック・改善を行っていますか				
	13	作業域内の動線配置が交錯しないようにしていますか				
	14	作業域内において作業者の歩行（移動）距離が短くなるよう工夫していますか				
	15	作業時間の計測を行っていますか				
	16	作業標準を作成していますか				
	17	作業に用いる道具類の保管場所は決まっていますか				
	18	施設内の整理、整頓、清掃等を定期的に行っていますか				
	19	器具機械等のメンテナンスを定期的に行っていますか。				
廃棄物管理	1	廃菌床の他用途への活用を行っていますか(エネルギー、堆肥、飼料等)				
	2	廃ほだ木の他用途への活用を行っていますか(エネルギー、堆肥、昆虫飼育材など)				
	3	菌床袋、培養ビン等プラスチック資材の廃棄量の削減やリサイクルに取り組んでいますか				
チェックポイント		取組実施者名①		取組実施者名②		
		令和5年度 までの取組	令和6-7年度 までの取組	令和5年度 までの取組	令和6-7年度 までの取組	
原木栽培	1	原木の伐期は適切ですか（購入の場合、依頼・確認等していますか）				
	2	原木の葉枯らし・乾燥期間は適切ですか（購入の場合、依頼・確認等していますか）				
	3	ハラアコブカミキリ等虫害木の移動を避けるなどの虫害対策を行っていますか				
	4	労働力配置や栽培環境、市場性を考慮して菌種を選択していますか				
	5	植菌器具機械等の掃除、メンテナンスを定期的に行っていますか				
	6	植菌数、植菌間隔は適切ですか				
	7	伏せこみにあたって、栽培環境に適した組み方を選択していますか				
	8	植菌後のほだ化の様子をこまめに確認していますか				
	9	ほだ場の環境条件を計測し、改善していますか(温度、湿度、照度、方角等)				
	10	気温、湿度条件に応じた適切な散水を行っていますか				
	11	天気予報を確認し作業計画に反映させていますか				
	12	ほだ場の選択にあたり自然災害の予防を考慮していますか				
	13	ほだ木の天地返しを行っていますか。				
	14	ほだ木の遮熱対策を十分講じていますか。				
	15	発生操作の方法、タイミングは適切ですか				
	16	収穫は適切なタイミングで行っていますか。				
	17	作業路の排水対策を講じていますか				
	18	林内作業車等車両系機械のエンジンをこまめに切っていますか				
	19	鳥獣被害の予防対策を行っていますか				
加 乾 工 燥	1	乾燥効率の向上に取り組んでいますか(庫内配置の適正化など)				
	2	乾燥時間を短縮させる取組を行っていますか(スライサーの導入等)				
	3	きのこの種類に応じた乾燥機の温度管理を適切に行っていますか				
	4	再度吸湿しないよう乾燥後の取り込みタイミングは適切ですか				
出 荷	1	包装資材の節約・減量化に取り組んでいますか				
	2	通いコンテナ等輸送資材の再利用に取り組んでいますか				
	3	包装資材の脱プラスチック化に取り組んでいますか				
その他	1	ソーラーパネル等、再エネ導入に取り組んでいますか				
	2	販売価格の適正化、生産コストの適切な価格転嫁に取り組んでいますか				
その他独自の コスト低減の取組						

省エネルギー取組計画

取組実施者名： _____

生産（又は製造）品目（※1）			
菌床製造量（※2）		前年度実績 （令和5年度） 千個	計画 （令和7年度） 千個
重油	燃油使用量	前年度実績 （令和5年度） L	目標 （令和7年度） L
	菌床千個当たりの燃油使用量	① L/千個	② L/千個
	燃油使用量削減率	[削減率] $((① - ②) / ①) \times 100 =$ %	
灯油	燃油使用量	前年度実績 （令和5年度） L	目標 （令和7年度） L
	菌床千個当たりの燃油使用量	① L/千個	② L/千個
	燃油使用量削減率	[削減率] $((① - ②) / ①) \times 100 =$ %	
省エネルギーの取組内容		省エネ生産管理計画チェックシート（必須の取組） ☐ 実践する	

（※）

- 生産（又は製造）品目は、「しいたけ」と記載することとし、しいたけの生産を行わない菌床製造者は「しいたけ菌床」と記載すること。
- 菌床の製造を行わないしいたけ生産者は、「前年度実績」には菌床の購入実績、「計画」には購入予定の数量を記載すること。

省エネ生産管理計画チェックシート

取組実施者名①： _____

(共同で取り組む場合のみ記載)

取組実施者名②： _____

下記の取組について、実施する（している）内容すべてに「○」を記載することとし、合計点数が22点以上となる取組（10%以上の燃油削減が期待される取組）を実施すること。共同で取り組む場合は、各取組実施者が異なる取組を行う場合のみ加点することとする。

	取組内容	点数	チェック欄		取組点数
			取組実施者①	取組実施者②	
燃油暖房機	1 燃焼用新鮮空気の取り入れ口を設けましたか	1			
	2 缶体を清掃しましたか	1			
	3 パーナーノズル周辺、ディフューザー、ストレーナー、火災検出器等を清掃しましたか	1			
	4 パーナーノズルを点検して定期的に交換していますか	1			
	5 ノズルヒーターに不具合はありませんか	1			
	6 エアシャッターで適正な空気量となるよう調整していますか	1			
	7 長期間保存した燃料を使用していませんか	1			
センサー	1 センサーの先端に水滴が付いていたり、壁や内容物に接触したりしていませんか	1			
	2 センサーを栽培棚中央付近など適切な高さに設置していますか	1			
	3 センサーを暖房機や送風ダクトの吹き出し口付近に設置していませんか	1			
	4 センサーの正常な作動を確認していますか	1			
温度管理	1 送風ダクトの設置方法（本数、太さなど）は適切ですか	1			
	2 循環扇の設置方法（配置間隔、作物影響など）は適切ですか	1			
	3 温度設定にあたり栽培品目・園種の適温を確認しましたか	1			
	4 培養棟・発生棟内の温度ムラの有無や温度差を適切な方法で確認しましたか	1			
	5 送風ダクトや循環扇を有効に活用して温度ムラを改善しましたか	1			
	6 送気ダクトの内部清掃は適切に行っていますか	1			
	7 床暖房等に使用する温水ボイラ等の設定温度は適切ですか	1			
外張被覆	1 被覆資材が汚れていないか確認しましたか	1			
	2 培養棟・発生棟の外張被覆の破れや隙間を点検しましたか	1			
	3 天窓や出入口部の破損や隙間を点検しましたか	1			
	4 被覆資材留具の緩みを点検しましたか	1			
	5 シェード（日除け）の遮光率は適切ですか	1			
	6 換気扇シャッターや使用しない出入口の目張り、側面巻き上げフィルムの固定をしましたか	1			
内張カーテン	1 培養棟・発生棟に内張（カーテン（※断熱材）、固定張り）を設置していますか	1			
	2 保温、断熱性能の高い内張り用シート（断熱材）を利用していますか	1			
	3 内張カーテン（断熱材）を多層化していますか（可能であれば培養棟・発生棟全面）	1			
	4 内張カーテン（断熱材）に破れや隙間がないか点検しましたか	1			
	5 内張カーテン（断熱材）裾部の隙間（膨らみ）を点検しましたか	1			
	6 培養棟・発生棟の出入口付近や妻面は隙間のないように保温対策を行いましたか	1			
	7 多層カーテン（断熱材）では被覆資材同士の間隔（資材同士が張り付かない）は適切ですか	1			
	8 多層カーテン（断熱材）では肩部などの隙間対策を行いましたか	1			
	9 自動開閉の場合、開閉させて隙間や開閉動作に問題がないことを確認しましたか	1			
殺菌	1 菌床殺菌時に対象に応じた殺菌時間を設定していますか	1			
	2 殺菌釜内の収容数は適切ですか	1			
その他の取組	1 ヒートポンプの導入	10			
	2 変温管理の導入	10			
	3 内張の多重化	10			
	4 循環扇の導入	10			
	5 その他燃油5%程度削減に寄与する取組（ _____ ）	10			

※断熱材：ガルバリウム鋼板、アルミ箔等と一体となった断熱材、保温性の高い被覆資材等を含むこととする。

合計点数	
------	--

※ 22点以上が採択要件

令和6年度しいたけ燃油高騰対策支援事業

1. 事業の内容及び経費の配分（又は事業成績）

燃油種別 (A重油又は灯油)	燃油購入 量	支援金単 価	総事業費 (A)+(B)+(C)	経費の配分			備考
				補助金 (A)	市町村費 (B)	その他 (C)	
	L	円	円	円	円	円	
計							

2. 事業完了予定（又は完了）年月日
年 月 日

様式第6号

番 号
令和 年 月 日

徳島県知事 殿

所在地
事業実施主体名
代表者氏名

令和6年度しいたけ燃油高騰対策支援取組実績報告書

しいたけ燃油高騰対策支援事業実施要領第6の5の規定に基づき、その実績を報告する。

きのご生産コスト低減等実施報告書（チェックシート）

チェック時期		令和 年 月			
氏名	取組実施者名①	取組実施者名②（共同報告書の場合のみ記載）			
対象品目	栽培方法	栽培規模			ト/年
対象品目	栽培方法	栽培規模			ト/年
対象品目	栽培方法	栽培規模			ト/年
対象品目	栽培方法	栽培規模			ト/年

- 1 実施した取組メニューに「○」を付けてください。
- 2 生産資材の国産化に向けた取組、コスト低減に向けた取組のいずれも、令和6-7年度に取り組むことが必須です。
- 3 「生産資材の国産化に向けた取組」は具体的な取組内容を記載してください。「コスト低減に向けた取組」は、「令和6年度または令和7年度の取組」に、チェックポイントの取組メニューが15個以上必要です。そのうち2つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大（「○」で記入）を含むようにしてください。

1. 生産資材の国産化に向けた取組		取組実施者名①		取組実施者名②	
国産化	生産資材の国産化（必須）	令和5年度までの取組	令和6-7年度までの取組	令和5年度までの取組	令和6-7年度までの取組
	生産に使用する生産資材の国産化を図っていますか ・取組の具体的な内容（既存の取組、試行的な取組も含む）				

2. コスト低減に向けた取組		取組実施者名①		取組実施者名②	
チェックポイント		令和5年度までの取組	令和6-7年度までの取組	令和5年度までの取組	令和6-7年度までの取組
燃油暖房機	1 燃焼用新鮮空気を取り入れ口を設けましたか				
	2 缶体を清掃しましたか				
	3 バーナーノズル周辺、デフューザー、ストレーナー、火災検出器等を清掃しましたか				
	4 バーナーノズルを点検して定期的に交換していますか				
	5 ノズルヒーターに不具合はありませんか				
	6 エアシャッターで適正な空気量となるよう調整していますか				
	7 長期間保存した燃料を使用していませんか				
	8 温湯暖房の場合、缶水の入替え、腐食抑制剤の投入を行いましたか				
	9 温風ダクトの漏れや破れはありませんか				
	10 オイルタンクの水抜きや配管の漏れを確認しましたか				
木質暖房バイオマス	1 貯蔵タンク（サイロ）と暖房機の距離は適切ですか（15m以内）				
	2 暖房機本体の設置場所は適切ですか（培養棟・発生棟端側の中央部）				
	3 燃油暖房機とのハイブリッド運転時の温度設定は適切ですか（燃油暖房機より1～2℃高く設定）				
	4 ダウンシュート対策をとっていますか				
	5 燃料の供給経路（サイロ⇒暖房機本体）に異常はないですか				
	6 燃料を適切な乾燥状態で使用していますか				
	7 (廃材暖房機の場合)廃材の乾燥は十分ですか				
	8 煙突掃除、燃焼灰の清掃等のメンテナンスをこまめに行っていますか				
空調設備	1 室外機や室内機周辺の障害物を除きましたか				
	2 室外機は北風等の影響がない場所に設置しましたか				
	3 (ヒートポンプの場合)デフロスト水の排水、積雪への対策をとりましたか				
	4 室外機と室内機をなるべく近くに設置しましたか				
	5 電線の太さ・長さ（引込柱～室外機の長さ）は適切にしましたか				
	6 (ヒートポンプの場合)ハイブリッド運転時の温度設定は適切ですか（燃油暖房機より2～3℃高く設定）				
	7 空調機接続周辺部に被覆の破れや隙間はありませんか				
	8 エアフィルターや熱交換器（室内・室外）の清掃を定期的に行っていますか				

チェックポイント		取組実施者名①		取組実施者名②	
センサー	1 センサーの先端に水滴が付いていたり、壁や内容物に接触したりしていませんか				
	2 センサーを栽培棚中央付近など適切な高さに設置していますか				
	3 センサーを暖房機や送風ダクトの吹き出し口付近に設置していませんか				
	4 センサーの正常な作動を確認していますか				
温度管理	1 送風ダクトの設置方法（本数、太さなど）は適切ですか				
	2 循環扇の設置方法（配置間隔、作物影響など）は適切ですか				
	3 温度設定にあたり栽培品目・圃種の適温を確認しましたか				
	4 培養棟・発生棟内の温度ムラの有無や温度差を適切な方法で確認しましたか				
	5 送風ダクトや循環扇を有効に活用して温度ムラを改善しましたか				
	6 送気ダクトの内部清掃は適切に行っていますか				
	7 施設内の菌床、ほだ木の収容数は適切ですか				
	8 夏季に培養棟・発生棟におけるミスト噴霧、屋根散水などの対策を講じていますか				
	9 床暖房等に使用する温水ボイラ等の設定温度は適切ですか				
	10 換気に熱交換器を利用していますか				
	11 天候の変化や日長に合わせて適切に被覆資材の上げ下ろしをしていますか				
外張被覆	1 被覆資材が汚れていないか確認しましたか				
	2 培養棟・発生棟の外張被覆の破れや隙間を点検しましたか				
	3 天窓や出入口部の破損や隙間を点検しましたか				
	4 被覆資材留具の緩みを点検しましたか				
	5 シェード（日除け）の遮光率は適切ですか				
	6 高温対策として、シェード（日除け）の2重張りを行っていますか				
	7 換気扇シャッターや使用しない出入口の目張り、側面巻き上げフィルムの固定をしましたか				

きのご生産コスト低減等実施報告書（チェックシート）

チェックポイント		取組実施者名①		取組実施者名②		
		令和5年度 までの取組	令和6-7年度 までの取組	令和5年度 までの取組	令和6-7年度 までの取組	
内張カーテン	1	培養棟・発生棟に内張（カーテン、固定張り）を設置していますか				
	2	保温、断熱性能の高い内張り用シートを利用していますか				
	3	内張カーテンを多層化していますか（可能であれば培養棟・発生棟全面）				
	4	内張カーテンに破れや隙間がないか点検しましたか				
	5	内張カーテン裾部の隙間（膨らみ）を点検しましたか				
	6	培養棟・発生棟の出入口付近や裏面は隙間のないように保温対策を行いましたか				
	7	多層カーテンでは被覆資材同士の間隔（資材同士が張り付かない）は適切ですか				
	8	多層カーテンでは肩部などの隙間対策を行いましたか				
	9	自動開閉の場合、開閉させて隙間や開閉動作に問題がないことを確認しましたか				
菌床栽培	1	菌床殺菌時に対象に応じた殺菌時間を設定していますか				
	2	殺菌釜内の収容数は適切ですか				
	3	殺菌後の冷却時間は適切に管理していますか				
	4	菌種の選択にあたり、培養環境、市場性を考慮していますか				
	5	菌床材料の保管状況は適切ですか				
	6	菌床の含水率は適切ですか				
	7	栽培舎への菌床収容数や間隔は適切ですか				
	8	栽培施設（培養室、発生棟）の環境条件（湿度・CO2等）を計測していますか				
	9	散水・加湿は、適切な量、タイミングで行っていますか				
	10	照明にLEDを使用していますか				
	11	こまめに消灯するなど点灯時間は適切ですか				
	12	製造ロット単位等の菌床ロス率のチェック・改善を行っていますか				
	13	作業域内の動線配置が交錯しないようにしていますか				
	14	作業域内において作業者の歩行（移動）距離が短くなるよう工夫していますか				
	15	作業時間の計測を行っていますか				
	16	作業標準を作成していますか				
	17	作業に用いる道具類の保管場所は決まっていますか				
	18	施設内の整理、整頓、清掃等を定期的に行っていますか				
	19	器具機械等のメンテナンスを定期的に行っていますか。				
廃棄物管理	1	廃菌床の他用途への活用を行っていますか(エネルギー、堆肥、飼料等)				
	2	廃ほだ木の他用途への活用を行っていますか(エネルギー、堆肥、昆虫飼育材など)				
	3	菌床袋、培養ビン等プラスチック資材の廃棄量の削減やリサイクルに取り組んでいますか				
チェックポイント		取組実施者名①		取組実施者名②		
		令和5年度 までの取組	令和6-7年度 までの取組	令和5年度 までの取組	令和6-7年度 までの取組	
原木栽培	1	原木の伐期は適切ですか（購入の場合、依頼・確認等していますか）				
	2	原木の葉枯らし・乾燥期間は適切ですか（購入の場合、依頼・確認等していますか）				
	3	ハラアコブカミキリ等虫害木の移動を避けるなどの虫害対策を行っていますか				
	4	労働力配置や栽培環境、市場性を考慮して菌種を選択していますか				
	5	植菌器具機械等の掃除、メンテナンスを定期的に行っていますか				
	6	植菌数、植菌間隔は適切ですか				
	7	伏せこみにあたって、栽培環境に適した組み方を選択していますか				
	8	植菌後のほだ化の様子をこまめに確認していますか				
	9	ほだ場の環境条件を計測し、改善していますか(温度、湿度、照度、方角等)				
	10	気温、湿度条件に応じた適切な散水を行っていますか				
	11	天気予報を確認し作業計画に反映させていますか				
	12	ほだ場の選択にあたり自然災害の予防を考慮していますか				
	13	ほだ木の天地返しを行っていますか。				
	14	ほだ木の遮熱対策を十分講じていますか。				
	15	発生操作の方法、タイミングは適切ですか				
	16	収穫は適切なタイミングで行っていますか。				
	17	作業路の排水対策を講じていますか				
	18	林内作業車等車両系機械のエンジンをこまめに切っていますか				
	19	鳥獣被害の予防対策を行っていますか				
乾燥工	1	乾燥効率の向上に取り組んでいますか(庫内配置の適正化など)				
	2	乾燥時間を短縮させる取組を行っていますか(スライサーの導入等)				
	3	きのこの種類に応じた乾燥機の温度管理を適切に行っていますか				
	4	再度吸湿しないよう乾燥後の取り込みタイミングは適切ですか				
出荷	1	包装資材の節約・減量化に取り組んでいますか				
	2	通いコンテナ等輸送資材の再利用に取り組んでいますか				
	3	包装資材の脱プラスチック化に取り組んでいますか				
その他	1	ソーラーパネル等、再エネ導入に取り組んでいますか				
	2	販売価格の適正化、生産コストの適切な価格転嫁に取り組んでいますか				
その他独自の コスト低減の取組						